

株式会社エムウェーブ第24期事業報告書

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

1 事業の概要

(1) 事業の経過及びその成果

長野市の貴重な財産である「エムウェーブ」及び「ビッグハット」（若里市民文化ホール含む）を、地域の発展と振興のため積極的な営業活動と情報発信を展開するとともに、利用者に愛される施設として、関係機関との有機的な連携をはじめ、良質なサービスの提供、施設利用の一層の促進、運営面での更なる効率化、合理化に努めてまいりました。

そうした中、当事業期においては、新型コロナウイルス感染症が全世界及び日本国内に感染拡大し、第1波として、令和2年4月16日には国内全域に緊急事態宣言が発出され、長野市からの市有施設の休止又は休館の指示により、当該3施設は4月23日から5月末まで臨時休館としました。以降、第2波、第3波と感染拡大の波が訪れ、3蜜回避による感染拡大防止のためイベント開催等が中止又は延期となり、貸館申込のキャンセルが相次ぎ、非常に厳しい運営となりました。

当期の成績のうち売上高は、貸館利用の減少などにより5億531万円となり、前期と比較して1億1,755万円の減少となりました。

販売費及び一般管理に係る営業費用は、人件費、業務委託費、光熱水費の節減などにより5億4,366万円で、前期と比較して7,219万円の減少となりました。

当期の営業外損益等を含めた税引前当期利益は、△3,191万円の損失となり、前期と比較して3,530万円の減少となりました。

(2) 施設部門別実績

【エムウェーブ部門】

① 施設見学及び売店部門

「長野オリンピックミュージアム」は、東京オリンピック・パラリンピックに向けた展示物の充実や貸館イベント時の動線確保に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休館や3密回避、移動自粛、イベント等の開催中止又は延期の影響により、見学者は4,669人で前期と比較して12,927人の減少となり、売店の売上も125万円で、358万円の減少となりました。

② 貸館部門

貸館営業につきましては、継続的にご利用いただいている顧客への営業を含め、ビッグハットと営業面での連携を図りつつ、コンサート、展示会など大規模イベント等の開催に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるイベント等の開催中止又は延期により、貸館利用の年間開催件数の減少により、売上は722万円で、前期と比較して6,941万円、9割減少となりました。入館者数も19,084人で、前期と比較して約26万人減となりました。

③ スケート部門

スケート大会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる大会がありました。全日本スピードスケート距離別選手権大会や全日本選抜スピードスケート競技会長野大会、全国高校スケート競技選手権大会などが開催され、売上は3,119万円で、前期と比較して416万円の減少となりました。スケート大会の入場者数は無観客大会もあり9,627人と、前期と比較して17,403人の減少となりました。

スケート入場は、スケート教室の中止等もあり、売上は3,995万円で、前期と比較して728万円の減少となりました。無料開放を7日間実施したスケート入場者数は、NTC利用者を含め52,923人で、前期と比較して4,958人の減少となりました。

エムウェーブのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

令和2年10月1日	全日本及び競技者合宿受入
10月4日	スピードリンクオープン（一般営業開始）
11月1日	ホッケーリンクオープン
11月4日	スケート教室受入開始
令和3年3月7日	営業終了

■ 製氷日程

スピードスケートリンク	令和2年9月9日	準備開始
	9月30日	製氷終了
アイスホッケーリンク	令和2年10月17日	準備開始
	10月25日	製氷終了

■ N T C (ナショナルトレーニングセンター)

アイスリンク専有時間	256.0時間
利用選手数	延べ13,075人(うち、N T C 選抜有資格者 6,807人)
トレーニングルーム利用者数	延べ 1,756人

■ 無料開放(7日間)

1	令和2年10月4日(日)	
2	11月15日(日)	
3	12月6日(日)	
4	令和3年1月10日(日)	
5	2月20日(土)	氷の彫刻展同時開催
6	2月21日(日)	〃
7	3月7日(日)	

■ 市内小学校スケート教室

教室開催日	33日間
参加学校数	延べ49校
参加者数	延べ 5,572人

■ 主な競技会・イベント

1	第27回全日本スピードスケート距離別選手権大会	令和2年10月23日(金)～25日(日)
2	第65回長野県高校総体スケート大会	令和2年12月15日(火)～16日(水)
3	第58回長野県中学校総体冬季大会スピードスケート競技会	令和3年1月6日(水)～7日(木)
4	第70回全国高校スケート競技選手権大会(S S)*	令和3年1月21日(木)～24日(日)
5	長野県中学生タイムトライアル	令和3年1月31日(日)
6	第46回長野県ジュニアスピードスケート競技会東北信大会	令和3年2月7日(日)
7	全日本選抜スピードスケート競技会長野大会*	令和3年2月11日(木)～13日(土)
8	第19回エムウェーブスピードスケート競技会*	令和3年2月12日(金)～14日(日)
9	第21回氷の彫刻展	令和2年2月20日(土)～21日(日)
10	令和2年度スピードスケート強化部距離別競技会	令和3年2月24日(水)～25日(木)
11	第51回長野市スケート競技大会	令和3年3月6日(土)

注)・令和3年1月30日(土)～2月2日(火)に予定した全国中学校スケート大会(スピードスケート)は中止

・*印の大会は無観客の大会

④ その他

館内の広告看板営業収入については、前期比42万円減の606万円となりました。

【ビッグハット部門】

① 貸館部門

貸館営業につきましては、コンサートや各種展示販売会、団体の大会等、様々な分野でのイベントの開催に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、コンサートほか各種大会の中止等、貸館利用の年間開催件数が減少し、売上は4,518万円で、前期と比較して1億331万円、7割減少となりました。入館者数は65,272人で、前期と比較して約25万人の減少となりました。

② スケート部門

スケート大会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により大会数が減少したものの、全日本フィギュアスケート選手権大会が開催されるなど、スケート大会売上は1,537万円で、前期と比較して1,040万円の増加となりました。大会の入場者数は、無観客の大会もありましたが、前期と同程度の10,274人となりました。

スケート入場売上は181万円で、前期と比較してより86万円の減少となりました。スケート入場者は、1,185人で前期と比較して519人の減少となりました。

ビッグハットのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

令和2年12月14日	リンクオープン アイスホッケー・フィギュアスケート練習開始
令和3年2月28日	リンク営業終了

■ 製氷日程

令和2年11月30日	準備開始
12月13日	製氷終了

■ 主なイベント及び競技会

1	第89回全日本フィギュアスケート選手権大会	令和2年12月22日（火）～27日（日）
2	第70回全国高校スケート競技選手権大会(F S)*	令和3年1月18日（月）～24日（日）

注)・令和3年1月30日（土）～2月2日（火）に予定した全国中学校スケート大会（フィギュアスケート）は中止

・令和3年2月13日（土）～14日（日）に予定した長野県アイスホッケー連盟U12長野大会は中止

・*印の大会は無観客の大会

(3) 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
売上高	93,020	503,205	477,700	427,268	411,745	342,744	360,336	368,690	226,660
当期損益 (税引後)	△9,014	△32,767	32,162	5,041	6,673	△279	8,568	6,572	18,438
1株当り 当期損益	円 △1,502.35	円 △5,461.1	円 5,360.47	円 840.22	円 1,112.14	円 △46.52	円 1,428.05	円 1,095.37	円 3,072.95
純資産	290,986	258,219	290,382	295,423	302,096	301,817	310,385	316,957	335,395
総資産	345,709	318,346	348,281	377,501	334,536	327,694	350,694	349,387	383,298

区 分	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
売上高	626,482	643,286	628,308	648,565	677,245	627,560	644,889	663,919	639,418
当期損益 (税引後)	36,142	18,123	14,059	16,599	19,293	12,519	2,578	5,978	12,185
1株当り 当期損益	円 6,023.69	円 3,020.33	円 2,703.64	円 3,192.09	円 3,710.20	円 2,407.55	円 495.91	円 1,149.65	円 2,343.43
純資産	371,537	389,660	363,719	380,318	399,611	412,130	414,709	420,686	432,872
総資産	450,954	464,166	430,645	473,967	470,712	483,716	488,594	507,272	505,043

区 分	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期			
売上高	674,087	682,983	621,096	640,918	622,865	505,313			
当期損益 (税引後)	13,658	16,386	12,598	8,008	1,254	△32,243			
1株当り 当期損益	円 2,626.62	円 3,151.22	円 2,422.80	円 1,540.16	円 241.19	円 △6,200.57			
純資産	446,531	462,917	475,516	313,525	314,779	282,535			
総資産	539,002	563,713	547,772	393,314	385,087	338,210			

(注)

- 1 第1期は、当社設立が6月1日であり、9月30日までの4か月間です。
- 2 第9期から事業年度を4月1日から翌年3月31日までと変更したため、第9期は6か月間です。
- 3 1株当たり当期損益は、期末発行済株式の総数から算出しています。なお、発行済株式の総数については、自己株式を除いています。
- 4 第10期からビッグハット及び若里市民文化ホールの指定管理業務を行っています。
- 5 第22期において、資本金の額を3億円から9,000万円に減少するとともに、自己株式800株を消却しました。

(4) 設備投資の状況

- ① 新型コロナウイルス感染症対策を実施するため、非接触集団測定用サーマルカメラと監視用モニターを2セット新たに購入しました。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策を実施するため、非接触個別測定用サーマルカメラを新たに3台購入しました。
- ③ MDF室の空調機設置

(5) 会社に対処すべき継続的課題

- ① 長野オリンピックの貴重な遺産である「エムウェーブ」、「ビッグハット」を大切な財産として後世に引き継ぐとともに、地域振興と長野の知名度・イメージ向上のための情報発信などを積極的に展開する。
- ② スケート競技の普及促進に対し、物心両面でのサポーターとなり、長野をスケートの聖地として発展させていく。
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、合理的、効率的な経営を行い、利用者に愛される施設となるよう、常に良質なサービスの提供と安定した黒字経営となるよう努めていく。

2 会社の現況

(1) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	24,000株	
発行済み株式の総数	5,200株	
株主数	8名	
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率(%)
長野市	3,000	57.7
長野県	600	11.5
株式会社 前川製作所	800	15.4
鹿島建物総合管理 株式会社	500	9.6
株式会社 八十二銀行	160	3.1
長野信用金庫	80	1.5
長野県農業協同組合中央会	30	0.6
長野都市ガス株式会社	30	0.6

(2) 取締役及び監査役の氏名等（令和3年3月31日現在）

会社における地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役会長	加藤 久雄	長野市長
代表取締役社長	滝澤 信一	株式会社エムウェーブ（常勤）
専務取締役	寺澤 正人	株式会社エムウェーブ（常勤）
取締役	尾島 信久	長野県教育委員会事務局教育次長
取締役	佐藤 信司	株式会社八十二銀行常務取締役
取締役	樋口 博	長野市副市長
取締役	丸山 陽一	長野市商工観光部長
監査役	角澤 本広	長野信用金庫専務理事
監査役	武重 正史	長野県農業協同組合中央会専務理事

(注) 当該事業期中の取締役及び監査役の異動は、次のとおりです。

1 任期満了に伴う取締役選任

取締役の任期満了に伴い令和2年6月26日開催の第23期定時株主総会において、表のとおり選任されました。

2 新たに就任

取締役に尾島信久氏、佐藤信司氏、丸山陽一氏が新たに就任されました。

3 退任

令和2年3月31日付けをもって轟寛逸氏及び高橋要氏が、6月26日付けの任期満了をもって浅井隆彦氏が、それぞれ退任されました。

(3) 従業員の状況（役員を除く。）

人 数		平均年齢	平均勤続年数
男 性	6 名	54歳 5 月	7 年 5 か月
女 性	5 名		